

BOM for Windows Ver.8.0

OpsAid 連携ガイドライン

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関しての責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R)」（Registered Trademark）は明記しておりません。

目次

本書について
- 製品表記
- 使用方法
- 環境説明

第1章 はじめに
第2章 動作要件
第3章 監視設定サンプルファイルを使用した設定ガイド
第4章 動作確認

本書について

製品表記

本書では、以下の製品について略称を使用しています。

正式名称	本マニュアルでの呼称（略称）
BOM for Windows Ver.8.0 SR1	BOM 8.0

使用方法

本書には、BOM 8.0と株式会社アンタスが提供するアラート対応自動化サービス「OpsAid」とを連携させるための設定方法や、監視設定サンプルの使用方法について記載しています。

- 本書を使用するには、BOM 8.0の基本的な知識や、OpsAidおよびMicrosoft Windowsオペレーティングシステムについての実際的な知識が必要です。
- BOM 8.0のインストールに関しては'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。本書はインストールが正常終了した後の操作方法について記述しています。
- 本書に更新・訂正などが生じた際は、弊社ウェブサイト上で情報を公開しますので、あわせて参照してください。

環境説明

本書で使用するコンピューター操作画面の説明、および画面画像の採取には、主にWindows Server 2019の環境を使用しています。

お使いのOSによって表示内容などが若干異なる場合がありますが、適宜読み替えてください。

第1章 はじめに

OpsAid連携によって、BOM 8.0からメール通知アクションによって送信される監視結果をOpsAidにインシデントとして登録するという、一連の流れを実現することができます。

これによってBOM 8.0からの通知を、OpsAid上で管理することができるようになります。

BOM 8.0では、このOpsAid連携を利用するために必要な設定を手軽に導入するための監視設定サンプルファイルと、本ガイドラインをインストールパッケージの以下の場所に同梱しています。

> [BOM インストールパッケージ]¥TOOLS¥OpsAid連携

- OpsAidのコンソールアプリケーションなど、OpsAid側の操作方法についてはサポート対象外です。
- OpsAidの仕様については、アンタス社OpsAidのサポート情報を確認してください。

第2章 動作要件

OpsAid連携の動作要件は以下のとおりです。

監視対象および通知元の動作環境	BOM 8.0の動作要件に準じます。 詳細は'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。
動作確認済みのOpsAid環境	2019/10/21 リリースのOpsAid

- 最新バージョンのOpsAid環境については、動作に問題がないことを事前に確認してください。

第3章 監視設定サンプルファイルを使用した設定ガイド

BOM 8.0で、OpsAidへ送信する通知を設定します。

設定の説明には以下のフォルダーに保存された監視設定サンプルファイルを用いますが、この設定内容を理解することにより、さまざまな監視設定に対してOpsAid連携のためのメール通知を設定することも可能になります。

> [BOM インストールパッケージ]¥TOOLS¥OpsAid連携¥OpsAid連携_サービス監視.CAB

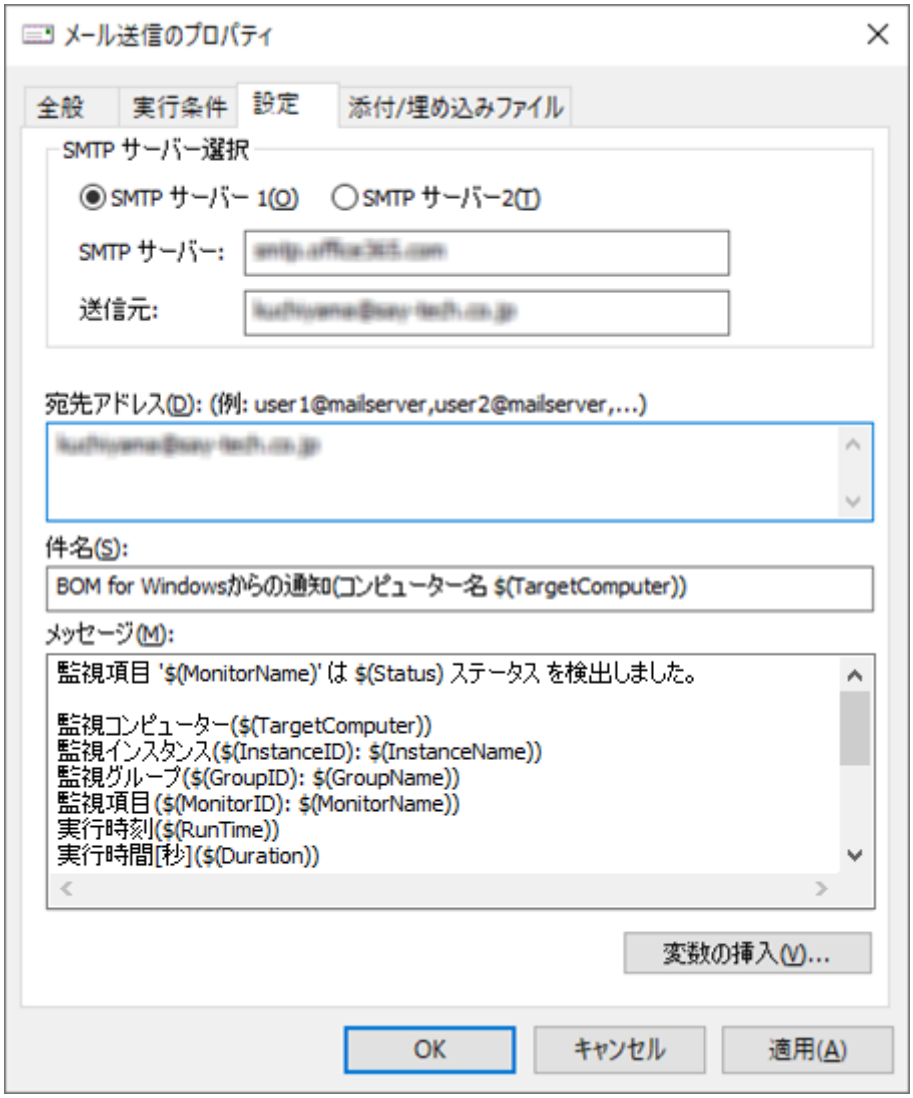
この監視設定サンプルファイルを使用した以下の手順では、Windows Timeサービスを監視するサービス監視にメール通知アクションを設定し、その通知メールに対してOpsAidとの連携に必要な情報を登録するという流れでOpsAid連携の設定を説明します。

[監視設定サンプルファイルの監視、通知内容]

- Windows Timeサービスの状態を3分間隔で監視
- Windows Timeサービスが停止状態であれば「注意」、注意が3回連続した時点で「危険」
- 監視結果が危険に変化した場合、または失敗となった時点で通知メールを送信

1. BOM マネージャーを起動し、メール通知の際に使用するSMTPサーバーの設定を実施します。
    - 監視が実行されている場合は、監視サービスを停止してください。
    - SMTPサーバーの設定方法については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'で「SMTP 情報の設定」を参照してください。
2. OpsAid連携を使用するインスタンスに、監視設定サンプルファイル「OpsAid連携_サービス監視.CAB」をインポートします。
    - CABファイルのインポート方法については、'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'で「監視設定のエクスポートとインポート」を参照してください。
3. 手順2で「OpsAid連携_サービス監視.CAB」をインポートしたインスタンスについて、スコープペインから「監視」ノード→監視項目「OpsAid連携サンプル_サービス監視」→「WindowsTime監視」を順に展開してクリックします。
4. リザルトペインに表示された「メール送信」を右クリックし、コンテキストメニューから「プロパティ」を選択します。

5. メール送信のプロパティ画面で「設定」タブを開き、以下のとおり設定します。



- **SMTPサーバー選択**

  手順1で設定したSMTPサーバーを選択します。

- **宛先アドレス**

  通知メールの送信先となるOpsAidのメールアドレスを設定します。

- **件名**

  OpsAid上でインシデントの件名とする内容を入力してください。

  「件名」フィールドではBOM 8.0であらかじめ用意された変数が使用できます。詳細については'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'で「予約済み変数」を参照してください。

6. 同画面の「メッセージ」フィールドに、OpsAidのインシデントとして登録する内容を入力します。
    - 「メッセージ」フィールドではBOM 8.0であらかじめ用意された変数が使用できます。詳細については'BOM for Windows Ver.8.0 ユーザーズ マニュアル'で「予約済み変数」を参照してください。
    - 本監視設定サンプルファイルでは、以下の内容があらかじめ登録されています。

    ```
    監視項目 '$(MonitorName)' は $(Status) ステータス を検出しました。
    監視コンピューター($(TargetComputer))
    監視インスタンス($(InstanceID): $(InstanceName))
    監視グループ($(GroupID): $(GroupName))
    監視項目($(MonitorID): $(MonitorName))
    実行時刻($(RunTime))
    実行時間[秒]($(Duration))
    結果コード($(ResultCode))
    監視値($(Value))
    --------------------------------
    Powered by BOM.
    <$(ActionID).BOM@$(FullComputerName)>
    On $(CurrentTime)
    ```

7. [OK]ボタンを押して同画面を閉じます。

以上で、監視設定サンプルファイルを使用したOpsAid連携について、BOM側の設定は完了です。

以降の操作で実際にOpsAid連携が実行されることを確認してください。

第4章 動作確認

第3章の設定内容で、実際にOpsAid連携が実行されることを確認します。

1. 第3章の手順1で停止した監視サービスを開始します。
2. Windowsの「サービス」を起動し、Windows Timeサービスを手動で停止させます。
3. 「WindowsTime監視」でWindows Timeサービスの停止が3回検知された時点で、通知メールが送信されます。
4. OpsAid側で、送信されたメールがインシデント登録されたことを確認します。

BOM for Windows Ver.8.0 OpsAid 連携ガイドライン

2022年5月9日 初版
2023年12月25日 改訂版

著者・発行者・発行
セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.8.0.10.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.